



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第4号 (H23.5.17)

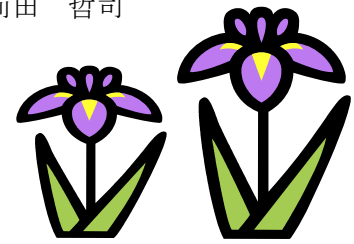
宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司

しつ じつ ごう けん
質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



第61回 野球定期戦・各部交流戦 が行われる！



5月11日(水)に都城泉ヶ丘高等学校 対 都城西高等学校の野球定期戦及び各部交流戦が行われました。奇跡的に天候は回復し、白熱した試合が展開されました。結果は、8-1で泉ヶ丘が勝利しました。両校で交流する目的は、「友情の輪を拡げる」「愛校心を高める」「切磋琢磨する精神の育成」にあり、随所にその目的が達成されたと思います。附属中生も80人となり、応援が一回り大きくなった感じがします。人は人の中で成長します。学校での多彩な行事を通じて、生徒同士・生徒と教師間での共感と感動を味わって欲しいと思います。学校行事6年間を通して、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、他人に対する思いやりと優しさを併せもつ人間へと成長できる学習の場になってほしいと思います。



作物を栽培して生活に活かそう！

—技術とものづくり—

5月12日(金)の3・4時間目に南九州大学の梅田先生に来ていただいて、2年生を対象に技術科の栽培の授業をしていただきました。この授業の目的は、「野菜の種類や品種の違いによって、生育に最適な環境が異なることを観察し、理解すること」にあります。これも附属中ならではの授業だと思います。泉ヶ丘高校にある既存の花壇を利用して栽培します。花壇は4つに分け、ポットにも栽培をします。ちなみに、花壇1は「トマト・ナス」、花壇2-aは「スイートコーン・エダマメ」、花壇2-bは「ヒマワリ、他」、花壇2-cは「ハーブ類、他」、40センチ径ポットには「野菜、花」を栽培します。環境園芸部の教授の先生から習うことは、なかなかないと思います。この機会に栽培のプロになるという気構えで取り組んでほしいと思います。





目の輝きと行動力で絶えず勝負！

学校では、明るく生き生きとした新入生が、さまざまな花が咲き競うかのように希望に満ちた顔で学校生活を楽しんでいます。入学してから1ヶ月ほどが経過しましたが、授業の様子を見に行き、いえることは「目の輝き」が素晴らしいということです。先生の話に興味津々と聞く姿、仲間の発言に対して注意深く聞こうとする姿には、とても喜びを感じます。これから6年間この姿勢を持ち続けてほしいと強く思いました。輝きのある目で、じっと見つめられると先生も自然に授業に力が入ります。説明や仲間の発言に対して、うなずいたり、首をかしげたりする「反応」があると、生徒の理解の様子が見てとれ、先に進んだり説明を加えたりすることができます。これこそ、「一座建立」の世界です。



「一座建立」とは、これは茶道の言葉で、たもち合いの世界のことだそうです。心を込めてお茶を点て、心をこめてお茶をいただくところに、その場の「一座建立」がある。主人だけでもだめ、お客だけでもだめ、主人もお客も、床の間の花も、掛け軸も、釜やお茶碗も、その他一切のものが調和をたもち合って、「一座建立」ができあがる。

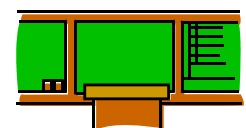
学級や学校も同じである。先生だけが一生懸命に取り組んでもだめ、生徒だけでもだめ、互いに真剣になるところは真剣になって、たもち合ってよい授業、よい学級、よい行事、よい部活動……等が成立する。先生は授業の準備をきちんと行い、真剣に進める、生徒は姿勢を正し先生の話に耳を傾け、自分の考えを先生や級友にしっかり伝えようとする。学級環境から言えば、きれいに消された黒板、きちんと張られている掲示物、整然と並んでいる机など、人と人を取り巻く環境が学習のために整えられているところに「一座建立」が成立する。そして、そのたもち合いが、より高い学習成果を生み、諸活動や諸行事ではより深い思い出や仲間づくりができるのだと思います。

しかし、気になったことが一つありました。それは、文字を書くときの姿勢です。目が近いこと、脊柱測わん症になるのではないかと思われるような姿勢で文字を書く生徒が1・2年生数名いました。ご家庭でも文字を書くときの姿勢を確認してみてください。第2次成長期にある生徒たちです。体育や部活動などで生涯にわたって通用する体力を身につけるときですが、日々の生活の中でも健康な体づくりに配慮したいものです。

中間テストがあります！ —保護者の皆様へ— 学校でつくるテストの基本的な考え方—

学校で行われるテストの目的は、すべての子どもたちに「学力をつけるため」です。「あなたの成績は〇〇です。もっとがんばってね」と生徒の「学力を測ることだけ」ではありません。テストの結果は、指導の結果でもあります。設定した到達目標（つけたい力）に対して指導（学習）をした結果、どれくらい力がついたのか調べ、達成状況が不十分な場合は、改善方策を具体的に示して、指導し一人ひとりが到達目標に少しでも近づけるように努力しております。

それが教師の仕事であると考えています。教師にとっての採点は、自らの「指導」の振り返り、授業改善の方策を得る場だと考えています。



※ 新1年生は、テスト範囲の確認や出されるポイントなどをしっかり先生方から聞き、こつこつと努力しましょう。